

令和 5 年 3 月 27 日

始良市議会議長 様

会 派 名 あいら敬愛会
代表者氏名 岩下陽太郎

政務活動報告書

【調査・研修・陳情等】

次のとおり実施しましたので報告します。

活動期間	令和 4 年 10 月 13 日～令和 4 年 10 月 13 日（1 日）		
活動場所	福岡県福岡市西区北崎		
目的	体験型観光と、観光農業についての視察		
使途項目	旅費	経路内訳 と金額	様式 3、様式 5 のとおり
所見	<p>福岡市西区北崎は、人口が増加している福岡市の中で、唯一少子高齢化が進んでいる地域であった。平成 13 年から「北崎を考える会」が発足され、北崎地区の活性化に向け、様々な活動が行われている。中でも、京都で修行を積み、現在は北崎の寿福寺で住職をされている平^{ひらな}元祥氏が、観光農業と体験型観光を上手く取り入れた形の活動をされており、それを地域や西日本新聞などが後押ししているような構図となっていた。北崎は博多湾に面しており、遣唐使が逗留した港も存在する。その風光明媚な景色を一望できる丘の上に、天神や中津などで働く層に、休日に農業に来てもらうための畑が整備されていた。また、独自の有機農法で野菜を作り、できた野菜を収穫してもらう体験型観光も展開されていた。訪れた観光客に、自分で収穫してもらった野菜と、北崎の特産品の鯛で鍋を作ってもらうなどもしているとのことだった。本市でも、体験型観光を実施するにあたり、参考になるような内容であると考え。</p> <p>成果物、資料は別添のとおり</p>		
参加者名	笹峯 桜		

令和4年10月13日視察工程表

様式3

行程表

会派名又は議員名（ あいら敬愛会 ）

月日	時刻	出発地等	到着地	交通手段等
10/13	7:50	自宅	鹿児島中央駅	送迎
	9:35	鹿児島中央駅	博多駅	新幹線
	11:27	博多駅	九大学研都市駅	地下鉄
	12:30	九大学研都市駅	北崎公民館	送迎
	13:00 15:00	北崎を考える会		
	15:00	北崎公民館	九大学研都市駅	送迎
	15:40	九大学研都市駅	博多駅	地下鉄
	16:49	博多	鹿児島中央	新幹線
	19:18	鹿児島中央	錦江	日豊本線

※ 行程表の起点と終点は、自宅の最寄り駅又は最寄りのバス停とする。

ご利用票 兼 領収書
SALES SLIP AND RECEIPT

九州旅客鉄道株式会社
Kyushu Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

始良市議会議員

ささみね桜

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2003

金額計
TOTAL AMOUNT ¥10,440
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL きっぷのご購入代金
Tickets price

購入日
DATE OF PURCHASE 2022年10月13日

乗車日
DATE OF DEPARTURE 10月13日

取扱カード会社
CARD COMPANY MUFG

クレジットカード番号
CARD NUMBER

列車名・券種
利用区間

さくら561号
博多
FROM

鹿児島中央
TO

¥10,440



ご利用票 兼 領収書
SALES SLIP AND RECEIPT

九州旅客鉄道株式会社
Kyushu Railway Company

宛名
RECEIVED FROM

始良市議会議員
ささみね桜

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER

2002

金額計
TOTAL AMOUNT

¥ 10,440
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

きっぷのご購入代金
Tickets price

購入日
DATE OF PURCHASE

2022年10月12日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

10月13日

取扱カード会社
CARD COMPANY

M U F G

クレジットカード番号
CARD NUMBER

列車名・券種
利用区間

さくら548号
鹿児島中央 博多
FROM TO

¥ 10,440



ICカード残額ご利用明細

カード番号：正XXXXXXXXXXXX1517

残額履歴 (最新 20件)

月日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
1013	入場	博多	出場	九大学研	*2104
1013	入場	九大学研	出場	博多	*1574
1013	物販				*1038
1013	入場	鹿児島中	出場	錦江	**556

2023-325 15:55 延宝駅券181発行
ご利用ありがとうございます。
(1/1) 九州旅客鉄道株式会社

はなたいこく

ポートヒル

花鯛郷北崎・帆音陽流宣言

-北崎地区活性化構想-

北崎を考える会
福岡市

1 構想の理念

はなたいこく

ポートヒル

花鯛郷北崎・帆音陽流宣言 あいうえおの理念

私たちは『あ、い、う、え、お』を郷づくりの理念として大事にします

花鯛郷北崎・帆音陽流宣言とは、船の帆音が静かに聞こえ、陽が海に反射され丘を明るく輝かせながら、変わりなく海から上がり、海に沈んでいく北崎のイメージをこれからも大事にするとともに、今後の郷づくりビジョンとする決意をこめた宣言である。北崎を中心とした志賀島、能古島、玄界島、糸島半島で形づくられる博多湾内外の海の美しさをポート(Port)として、同様に、北崎のもう一つの重要な地域資源としての山をヒル(Hill)として位置付け、それらに花や鯛などの北崎くささ(らしさ)を付け加え活用していく。この構想をもとに、私たちは、福岡都市圏の中で重要でかけがえのない北崎として、農業・漁業の振興を図ると共に、住み良い環境と地域社会を創り上げることに努力する。

活性化とは、地域住民が中心となり、皆が共有できるまちづくりの方向を定め、それに向かって地域住民と行政が共働で継続的に努力することである。この観点から、地元住民で構成される「北崎を考える会」と福岡市が共に構想策定にあたった。構想の策定後は案件により短中期および長期的視点に立ち、北崎地区のまちづくりを行うものとする。

2 活性化の方向性

- 【方向性】
- 地域資源の活用
 - 北崎地区の豊かな自然を守る
 - 都市近郊農業・漁業の振興を図る
 - 地域の魅力の創出
 - 住みやすく、魅力的なまちづくりを行う
 - 北崎の魅力を売り出すPR戦略の展開を図る
 - 地域の自主性と主体性によるまちづくり
 - 地域住民の自主性、主体性を確立する
 - 継続的なまちづくりの展開を図る

3 9つのアクション・プラン

上記で示した理念と方向性に基づいて、9つのアクション・プランを設定し、優先的に実行していくものとする。

■ソフト分野■

1 「北崎を考える会」の発展拡大

- 「北崎を考える会」を発展拡大させ、地元若手を中心とした企画運営委員会を「北崎を考える会」の中に設立する。この委員会において今後の北崎のまちづくりを企画運営していくとともに、必要に応じて部会を作って郷づくり活動を推進していく。

(例) ハイキングマップ(歴史探索)部会、北崎ブランド部会、イベント部会、フラワーロード部会、定住化プラン部会、姉妹村交流部会 など

2 北崎ブランドの確立

- 北崎地区の農産物・魚等に付加価値を加え、消費者にアピールできる北崎ブランドを開発し、販路を確立し販売する。（例）花鯛郷・北崎ブランド

3 PRイベントの開催

- 「北崎」の知名度向上を図るため、地域住民（北崎を考える会）が自主的、定期的に北崎各地でイベントを開催する。
- H14 年度にキックオフ・イベントを計画し、北崎活性化へのスタートとして住民総意のもとに開催する。

4 海釣公園緑地の活用

- 公園緑地を利用し、朝市（さかな市、やさしい市）などを開催し北崎産物の直売を行う。
- 開催運営は農協や漁協を中心に地域住民（北崎を考える会）が行う。

■ハード部門■

5 まちづくり拠点の創出

- 北崎公民館の改築を機に、北崎校区老人いこいの家、西消防団北崎分団車庫、西区役所北崎連絡所を合築し、北崎のまちづくり並びに生涯学習の拠点となる複合施設を、平成 15 年度建設に向け検討する。この建設にあたっては、ワークショップ等を通じて地域住民と行政が共働で進める。
- 北崎の魅力を多くの人に発信するため、地域情報を提供する。
（例）訪問者へのハイキングマップ、季節の花・魚、北崎の名所の情報提供

6 フラワーロード整備

- 整備中の小田農道（H.16 完成予定）の沿線に季節の花々を植えることで訪問客や地域住民にアピールし、「花のまち・きたざき」のイメージを定着させる。
- 花の管理運営は地域住民（北崎を考える会）が行い、北崎地区のまちづくりの一つのシンボルとして育てる。

7 道路ネットワークの充実

- 小田農道から西浦方面への交通の円滑化を図るため、道路の改善を行う。
- 学園通線開通（H.20 代 年半ば予定）や九州大学学術研究都市構想の進展や地域状況の変化を勘案しながら、道路ネットワークの充実策を検討する。

8 住みたくなるまちづくり

- 地域住民（北崎を考える会）が主体となって定住化プランを策定する。
- 定住化プランに基づき、地域にふさわしい居住機能の充実を図る。
（例）漁民住宅、田園住宅など

9 ハイキングコース整備

- 北崎の自然を活かし、柑子岳において地元の協力を得てハイキングコースを整備し、併せて案内標識や休憩施設等を設置する。また将来的に、柑子岳の史跡化を検討する。灘山の現在のハイキングコースについては、早期に施設の改善を行う。
- 地域住民（北崎を考える会）を中心にして、北崎地区の歴史・史跡を中心にハイキングマップ作成やハイキングコースの設定、観光ボランティアを育成する。